

保健体育科の分析と改善策

1年

① 分析

項目	分析
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none">・意欲のある生徒が多く、態度も良好で、集中して運動に取り組もうとしている。・忘れ物はほぼなく、提出物もきちんと仕上げ提出できている。
思考・判断	<ul style="list-style-type: none">・自分やチームの目標を設定し、達成に向け、課題の改善方法を考え、言葉で表現できる生徒が多い。しかし、文字として表現することには不十分な点がある。
運動の技能	<ul style="list-style-type: none">・意欲的に、考えながら取り組んでいる生徒が多いので、上達が早い。・目標やポイントを押さえながら、授業に臨んでいる生徒が多い。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none">・定期考査の結果を分析すると、正確な理解と、知識の定着には、不十分な点が見られた。・ルールや歴史、正しい語句を習得する必要がある。

② 具体的な改善策、及び、生徒の活動や発表力を身に付けさせるための工夫

- ・目標や注意点、ポイントを明確に生徒に伝える。
- ・自分の現状を踏まえた目標や課題を設定させる。
- ・『学習カード』を使い、課題や改善方法を考え、文字として適切に表現させる。
- ・お互いの『教え合い活動』を通して、他者の課題や改善方法を考え、言葉として適切に表現させる。
- ・『作戦タイム』を設け、『話し合い活動』を通して、技能の向上に向けての具体策を考えさせる。
- ・『発表タイム』を設け、他者・他チームの発表から参考になる点を学ばせる。
- ・本時や単元の終了時に、『振り返り活動』を自他で行い、次回に向けての課題を明確にさせる。

2年

① 分析

項目	分析
関心・意欲・態度	・意欲のある生徒が多く、態度も良好であり、継続的に運動に取り組もうとしている。 ・女子は運動の苦手な生徒も意欲的に取り組んでいる。
思考・判断	・自分自身にあった目標を考え、設定することや練習方法の工夫ができていない生徒がいる。
運動の技能	・意欲的に取り組む生徒が多いので、技能のポイントをおさえている生徒は上達が早い。
知識・理解	・定期考査へ向けての取り組みに個人差があり、知識が身に着いている生徒とそうでない生徒に二極化している。

② 具体的な改善策、及び、生徒の活動や発表力を身に付けさせるための工夫

- ・毎時間、学習カードを活用してグループや個人で目標を設定し、それをもとに反省点や次回の目標の設定を行う。
- ・練習内容を調べさせ、適切な方法を選択させる。
- ・技能の構造を明確に伝える。
- ・各単元の実技学習カードを活用して、自分自身の目標と練習方法が合っているか、グループで話し合わせる。
- ・ワークシートや学習カードで、知識が付けられるような工夫をする。

3年

① 分析

項目	分析
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none">・意欲のある生徒が多く、態度も良好であり、継続的に運動に取り組もうとしている。・女子は運動が苦手な生徒も意欲的に取り組んでいる。
思考・判断	<ul style="list-style-type: none">・自分やチームの目標を設定し、達成に向けた課題を認識し、その改善方法を考え、文字や言葉できちんと表現できる生徒が多い。
運動の技能	<ul style="list-style-type: none">・意欲的に、考えながら取り組んでいる生徒が多いので、上達が早い。・目標やポイントを押さえながら、授業に臨んでいる生徒が多い。・女子は技能のポイントを身体で表現することに時間がかかる生徒が多い。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none">・定期考査の結果を分析すると、体育分野は知識の定着がみられるが、保健分野では知識の定着や理解が深まっていない傾向がみられた。

② 具体的な改善策及び生徒の活動や発表力を身に付けさせるための工夫

- ・単元目標や本時の目標を明確に示し、学習カードを活用して、自己やチームの現状を踏まえた課題設定を行う。
- ・球技では『作戦タイム』を設け、『話し合い活動』を通して、技能の向上に向けての具体策を考えさせる。
- ・毎時間の終了時に、学習カードに本時の取り組みの振り返りを記入し、次回活動に向けて課題を明確にする。また具体的に記入することで、思考・判断・表現力を高める。
- ・保健分野では、大事なポイントを押さええて解説をし、ワークシートや学習ノートを活用して、知識の定着を図る。